



Shimotsuke English Journal (SEJ)

Vol. 4 H28.7.1

今月のキーワード

単元で身に付けさせたい力

授業の振り返り

下野市は平成25年度から英語特区となり、小学校3、4年生から年間20時間の外国語活動を実施しています。今後の教科化も見据えながら、現在の外国語活動を更に充実させていきましょう。小中高を通して「英語を使って何ができるようになるか」という到達目標を考えながら英語教育を考えていく中で、小学校外国語活動においても「**単元レベルで授業を構想すること**」を意識してほしいと思います。今回は、6月21日に行われた、小中学校英語研修で授業を提供してくださった石橋北小の高田めぐみ先生の指導案をもとに、「単元の指導計画」と「授業の振り返り」について考えてみようと思います。

○単元名 「道案内をしよう」(Directions & Places 方向と場所)

○単元の評価規準

- ・積極的に道を尋ねたり道案内したりしている。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- ・目的地の行き方を尋ねたり言ったりしている。【外国語への慣れ親しみ】
- ・建物の発音や表現について、英語と日本語の共通点や違いに気付いている。【言語や文化に関する気付き】

Point 1 : 単元の評価規準と指導計画における評価規準の整合性はあるか

○指導計画 (4時間扱い)

時	目標 (ねらい)	主な学習活動	評価 (◇)
1 ・ 2	英語での建物の言い方を知る。	① What's this? を通して建物など英語での言い方を知る。・・・中略・・・	◇英語での建物等表し方の特徴や、日本語との違いに気付いている。[行動観察・振り返りカード] 【言語や文化に関する気付き】
3	目的地への行き方を尋ねたり、言ったりする。	①グループごとに道案内を聞き、目的地への道をたどり、場所をあてる。・・・中略・・・	◇目的地への行き方を尋ねたり、教えたりしている。[行動観察・振り返りカード] 【外国語への慣れ親しみ】
4	目的地への行き方を尋ねたり、積極的に道案内したりしている。	① 道案内を聞いて、地図上で目的地への道をたどり、場所をあてる。・・・中略・・・	◇方向や動きを指示する英語を使って、進んで友達に道案内をしたり、案内通りに行こうとしたっている。[行動観察・振り返りカード] 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

Point 2 : 毎時間の目標 (ねらい) と評価は合致しているか

Point 3 : 単元の最後にどのような活動をさせたいかを考えて、毎時間の学習活動を計画しているか

「単元を通してどのような力を身に付けさせるのか」を考えると、学習した内容を総合した言語活動は、単元の最後に位置付けられることが多くなりますね。





授業の「振り返り」を工夫しましょう

子どもにとって「ねらい」と「振り返り」（教師にとっては「目標」と「評価」）を一体化させましょう。

(例) **本時の目標**

英語を使って積極的に道を尋ねたり、道案内したりしようとする。

児童用 振り返りカード

- ① 友達や先生と積極的に英語で伝え合うことができましたか。
- ② 方向や動きの言い方を使って、友達の行きたい場所を案内したり、案内されたとおりに行こうとしたりしましたか。
- ③ 今日の学習で（わかった・気付いた・できるようになった）ことを書きましょう。

(授業の振り返りカードより)

※「ねらい」で、何ができればよいのかを具体的に示すことで、振り返りもしやすくなります。

***** ☕ 授業研究会にて ☕ *****

班別協議では、「小学校外国語活動における担任の役割」というテーマで話し合いました。

特に、担任の高田先生自らが英語を使って、楽しくコミュニケーションを取っている姿が印象的でした。英語に親しむ先生の姿が、児童への何よりのモデルとなっていました。

また、本時の学習「道案内」は、今後小学校6年生、中学校2年生につながる学習内容でした。子どもの学びの視点で考えた場合、どのように学習活動を変化させていくことが望ましいのか、小中接続の視点でも改めて考えさせられました。

☆ 児童の振り返りより ☆

- ・道案内が、この前の時間にはできなかったけれど、今日はできたのでうれしかった。
- ・進む、曲がる、止まる の言い方が分かった。
- ・もっとはやく英語をすらすらと言えるようになりたい。
- ・地図を見ながら説明するほうが便利だと思った。



<< 授業の様子 >>



※ 第2回の小中学校英語研修は、12月に南河内中会場（授業者：渡邊沙織先生）を予定しています。よろしくお願ひいたします。